

ニホンジカ管理事業実施計画書

令和4年度ニホンジカ管理事業実績報告書(県実施分).....	p3~8
令和6年度ニホンジカ管理事業実施計画書(県実施分).....	p9~14
令和4年度ニホンジカ管理事業実績報告書(市町村分).....	p15~24
令和5年度ニホンジカ管理事業実施計画書(市町村分).....	p25~33

令和5年8月

宮城県環境生活部自然保護課

令和4年度

ニホンジカ管理事業実績報告書(県実施分)

令和5年8月

宮城県環境生活部自然保護課

令和4年度ニホンジカ管理事業実施計画の実績と評価

宮城県

R4計画		R4実績		評価
1	<p>被害防除対策 イ 市町村における被害防止体制整備への支援、指導及び研修会の実施。</p> <p>ロ 被害防除技術研修会の実施。</p> <p>ハ 有害鳥獣対策への地域的な取組支援普及指導員が地域的な有害鳥獣対策を支援するための被害軽減に係る知識の習得、向上に向けた研修会の開催と情報提供や助言を行う。</p>	<p>被害防除対策 イ 鳥獣被害防除総合対策交付金により、19事業実施主体における有害捕獲活動、わなの購入及び侵入防止柵の設置等を補助した。 (仙台市、石巻市・女川町、気仙沼市、白石市、岩沼市、登米市、栗原市、大崎市、蔵王町、七ヶ宿町、村田町、柴田町、川崎町、丸森町、大和町、色麻町、加美町、涌谷町、南三陸町) ロ 地域の対策従事者や県・市町村担当者を対象とし、ニホンジカの生態や効果的な被害対策に関する研修会を開催し、人材育成による地域での対策推進を図った。 (12/23、19名参加)</p> <p>ハ ・各普及センターに鳥獣害対策を支援する担当普及職員を配置。 ・農山漁村なりわい課主催の研修会(12/23)に鳥獣害担当普及職員(9名)を派遣し、ニホンジカの生態や、他県の対策事例を学んだ。</p>	<p>農山漁村なりわい課 農作物被害の軽減に向け、引き続き交付金の活用により、被害防止体制整備や対策等について支援する。</p> <p>自然保護課、農山漁村なりわい課 各地域において効果的な被害対策が推進されるよう、引き続き研修会等を開催する。</p> <p>農業振興課 今後も担当普及職員を配置するとともに、研修会を通して知識を習得し、地域の鳥獣害対策への取組を支援する。</p>	
2	<p>個体数管理 イ 捕獲目標(県全体):これまでの捕獲数と推定生息数の傾向から、狩猟、有害鳥獣捕獲、個体数調整及び指定管理鳥獣捕獲等事業の合計で5,400頭以上を目標とする。</p> <p>ロ 狩猟期間の延長(11月15日からは11月1日からに、3月15日までを3月31日まで)</p>	<p>個体数管理 イ 捕獲実績(県全体):4,872頭 ・県事業(指定管理鳥獣捕獲等事業) 1,257頭 ・市町村事業(有害鳥獣捕獲) 3,371頭 ・狩猟捕獲 244頭</p> <p>ロ 狩猟期間を11月1日から11月14日まで及び2月16日から3月31日まで延長し、延長期間内に101頭捕獲した。</p>	<p>【自然保護課】 目標を下回る捕獲数となった。引き続き捕獲圧の強化に努める。</p> <p>【自然保護課】 狩猟捕獲全体の約41%であり、捕獲圧の強化に一定の効果が見られた。</p>	

R4計画	R4実績	評価
<p>ハ 狩猟捕獲に対する支援 放射線物質の影響により狩猟捕獲頭数が減っていることから、狩猟捕獲に対する補助(1頭当たり5,000円、捕獲目標600頭)を行う。</p> <p>ニ 国の指定管理鳥獣捕獲等事業交付金を活用した捕獲事業を実施する。(捕獲目標600頭)</p>	<p>ハ 狩猟捕獲に対する支援 補助事業により、126頭の捕獲実績があった。</p> <p>ニ 指定管理鳥獣捕獲等事業により、1,257頭を捕獲した。</p>	<p>【自然保護課】 狩猟捕獲全体の約52%が本補助事業を活用しており、捕獲量の維持に一定の効果が見られたが、さらに事業の周知に努めていく。</p> <p>【自然保護課】 目標頭数を大きく上回る捕獲数となり、捕獲圧強化に効果があった。</p>
<p>3 生息地の適正管理</p> <p>イ 緩衝帯設置の推進 農作物被害防止対策に関する研修会の開催等により、農地周辺の環境整備を推進する。</p> <p>ロ シカ被害地域における再造林の推進のため、防鹿柵の設置や忌避剤の塗布等、シカ被害対策に活用できる補助事業等の周知及び実施を支援する。</p>	<p>イ 緩衝帯設置の推進 集落ぐるみの鳥獣被害対策モデル事業等により研修会を開催し、環境整備の重要性を周知しながら対策の推進を図った。</p> <p>ロ 国庫補助事業やみやぎ環境税活用事業により、防鹿柵の設置や忌避剤の塗布を支援し、シカ被害対策を併用した森林再造林を進めた。 ◇防鹿柵設置:石巻市874m(1件)、登米市1,266m(2件) ◇忌避剤散布:気仙沼市68,42ha(3件)、栗原市7,75ha(1件)、川崎町5,34ha(1件) ◇食害防護資材設置:登米市0,32ha(1件)</p>	<p>農山漁村なりわい課 環境整備の推進について、引き続き地域の取組を支援する。</p> <p>森林整備課 ・引き続きシカ被害対策を支援し、森林の再造林を進めていく。</p> <p>道路課</p>
<p>ハ 道路区域のうち、路肩部分(原則1m幅)について、6月から9月までの期間内に除草を実施する。 なお、除草は車両運転者の視距等に影響がある場合を除き、原則として年1回実施するものとする。</p> <p>ニ 事業を円滑に実施するため「鳥獣被害防止特措法」に基づき、市町村鳥獣被害防止計画の策定を支援する。 (計画作成済み市町村 シカ対象18市町) ※ R3.4末時点</p>	<p>ハ 道路区域のうち、路肩部分(原則1m幅)について、6月から8月中旬までの期間内に除草を実施した。</p> <p>ニ ホンジカを対象鳥獣とする10市町における計画の更新を支援した。 (仙台市、石巻市、気仙沼市、白石市、登米市、栗原市、柴田町、松島町、大和町、加美町)</p>	<p>農山漁村なりわい課 適正な計画内容となるよう、引き続き計画の作成及び変更を支援する。</p>

R4計画	R4実績	評価
<p>ホ 農作物被害対策の指導を担う職員を育成し地域での対策を推進する。</p> <p>ハ 車両等との事故により衝突死した個体については、各市町村に回収を依頼する。</p>	<p>ホ 地域の対策従事者や県・市町村相当者を対象とし、二ホンジカの生態や効果的な被害対策に関する研修会を開催し、人材育成による地域での対策推進を図った。(12/23、19名参加)</p> <p>また、被害対策に係る知識及び技術の取得を目的とする、県・市町村相当者を対象とした農林水産省主催の研修に参加。(6/21、18名参加)</p> <p>ハ 車両等との事故により衝突死した個体について、県の道路管理業務において、道路上からの除去や回収を89件行った。(内訳:東部管内73件、気仙沼管内16件)</p>	<p>農山漁村なりのわい課各地域において効果的な被害対策が推進されるよう、引き続き研修会を開催するほか、国主催の研修への参加を促す。</p> <p>道路課</p>
<p>4 資源の活用及び残さの適正管理</p> <p>イ 放射性物質検査</p> <p>平成29年12月13日から出荷が制限されているシカ肉について、放射性物質のモニタリング調査を行い、情報提供していくとともに、出荷制限が一部解除されている指定食肉処理加工施設が受け入れた肉については、全頭検査を実施した上で出荷する。</p>	<p>4 資源の活用及び残さの適正管理</p> <p>イ 放射性物質検査</p> <p>県内各地から検体を採取し、ゲルマニウム半導体検出器で測定を行った。(国基準値(100Bq/kg)超過はなし)</p> <p>また、ニホンジカ肉については指定された食肉加工施設が受け入れた肉の全頭検査を実施した上で出荷を行った。(国基準値(100Bq/kg)超過はなし)</p>	<p>【自然保護課】</p> <p>今後も継続して検査を行い、情報提供していく。</p>
<p>5 その他</p> <p>(1) 調査研究</p> <p>イ 生息状況調査</p> <p>指定管理鳥獣捕獲等事業を活用し、糞塊密度調査や区画法調査による生息状況調査を実施し、階層ベイズ法による生息数推定等の生息状況調査を実施するとともに、基礎データの収集方法や推定手法の改善について検討を行う。</p> <p>ロ 捕獲状況調査</p> <p>狩猟及び指定管理鳥獣捕獲等事業に係る「出猟カレンダー」で生息分布及び捕獲効率等を把握するとともに、有害鳥獣捕獲についても市町村に出猟カレンダーの提出について協力を呼びかける。</p> <p>ハ 糞塊法による生息密度と森林被害発生状況を調査する。</p> <p>ニ 好適生息環境となっている植栽放棄地の適正な管理方法について調査する。</p>	<p>5 その他</p> <p>(1) 調査研究</p> <p>イ 生息状況調査</p> <p>糞塊密度調査を35ルート(うち内陸部15ルート)、区画法調査を2箇所で実施した。</p> <p>ロ 捕獲状況調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 狩猟捕獲、有害鳥獣捕獲及び指定管理鳥獣捕獲等事業により生息分布等を把握した。 ・ 狩猟捕獲数、許可捕獲数、糞塊調査の1kmあたり糞塊数の3指標から、階層ベイズ法による生息数推定を行った。令和3年度未推定生息数16,254頭(95%信頼区間10,115~29,206) <p>ハ 10月に石巻市(黒森山、硯上山、高白浜、風越)と南三陸町(入谷、上保呂毛)で調査を行った。</p> <p>ニ 女川町の伐採跡地に設置した防鹿柵内に植栽した広葉樹の生育状況を調査した。また、ニホンジカの生息域が拡大しつつある地域の50地点において、下層植生衰退度調査を実施した。</p>	<p>【自然保護課】</p> <p>生息状況にかかるモニタリング調査、捕獲に関する情報及び生息数推定はニホンジカ管理の基礎情報であるため、今後も情報収集に努める。</p> <p>林業技術総合センター</p> <p>林業技術総合センター</p>

R4計画	R4実績	評価
<p>ホ 捕獲実施地域の条件に合った効率的な捕獲方法について調査する。</p> <p>ヘ 宮城県特定鳥獣保護管理計画検討・評価委員会ニホンジカ部会 県及び該当市町の事業実施計画等について専門家による検証を行うとともに、必要に応じて部会に各市町の担当者をオブザーバーとして招き、各市町の抱える問題等への助言機会の確保を図る。</p> <p>ト 地方振興事務所単位の広域連携会議等において、被害状況や防除策等の情報交換、研修会等を実施し、被害防止を図る。</p>	<p>ホ 2月に餌誘引くくりわねの真証試験を石巻市東福田及び登米市津山町で実施した。</p> <p>ヘ 宮城県特定鳥獣保護管理計画検討・評価委員会ニホンジカ部会 部会及び検討・評価委員会を各1回開催し、県及び該当市町村の事業実施計画等について検証を行った。</p> <p>ト 県内5圏域(大河原、仙台、北部、東部、気仙沼)において地域連携会議を開催し、効果的な被害防止対策の実施に向け、情報交換等を行った。</p>	<p>林業技術総合センター</p> <p>【自然保護課】 特定計画の実施状況を検討・評価するため、今後とも継続的に開催する。</p> <p>農山漁村なりわい課 近隣市町村との連携強化を図るため、引き続き連携会議等を開催する。</p> <p>林業振興課</p> <p>市町村や森林所有者に 対し、被害防止技術を普及 引き継ぎ技術普及及び 被害情報周知を図る。</p>
<p>(2) 市町村が作成する「市町村森林整備計画」にて設定可能な鳥獣害防止森林区域(ニホンジカ)について、被害を特に防止すべき森林において適切に区域を設定するよう市町村を指導するとともに、森林所有者等に対し、植栽木等への食害及びその防除対策等について情報提供を行う。</p>	<p>(2) 市町村が作成する「市町村森林整備計画」にて設定可能な鳥獣害防止森林区域(ニホンジカ)について、被害防止の必要な森林で適切に区域を設定するよう市町村への指導を実施した。</p> <p>県内各地に配置されている林業普及指導員等が普及活動を 通じ、森林組合職員や市町村等を対象に、被害状況の確認や 被害防止技術に係る研修・現地検討を行った。 また、林業体験学習を通じ、森林保全におけるニホンジカ対 策の重要性について、県民や地元高校生の理解を深めること ができた。</p>	

令和6年度

ニホンジカ管理事業実施計画書(県実施分)

令和5年8月

宮城県環境生活部自然保護課

令和6年度ニホンジカ管理事業実施計画(案)

宮城県

※赤字はR5計画からの変更箇所

R5計画		R6計画		備考
1	<p>被害防除対策</p> <p>イ 市町村における被害防止体制整備への支援、指導及び研修会の実施。</p> <p>ロ 被害防除技術研修会の実施。</p> <p>ハ 有害鳥獣対策への地域的な取組支援普及指導員が地域的な有害鳥獣対策を支援するための被害軽減に係る知識の習得、向上に向けた研修会の開催と情報提供や助言を行う。</p>	1	<p>被害防除対策</p> <p>イ 市町村における被害防止体制整備への支援、指導及び研修会の実施。</p> <p>ロ 被害防除技術研修会の実施。</p> <p>ハ 普及指導員等が、有害鳥獣対策を支援するための被害軽減に係る知識の習得、向上に向けた研修会の開催と情報提供や助言を行う。</p>	<p>農山漁村なりのわい課</p> <p>自然保護課・農山漁村なりのわい課</p> <p>農業振興課</p>
2	<p>個体数管理</p> <p>イ 捕獲目標(県全体):これまでの捕獲数と推定生息数の傾向から、狩猟、有害鳥獣捕獲、個体数調整及び指定管理鳥獣捕獲等事業の合計で5,400頭以上を目標とする。</p> <p>ロ 狩猟期間の延長(11月1日から3月31日まで)</p>	2	<p>個体数管理</p> <p>イ 捕獲目標(県全体):これまでの捕獲数と推定生息数の傾向から、狩猟、有害鳥獣捕獲、個体数調整及び指定管理鳥獣捕獲等事業の合計で5,400頭以上を目標とする。</p> <p>ロ 狩猟期間の延長(11月1日から3月31日まで)</p>	<p>自然保護課</p> <p>自然保護課</p>

R5計画	R6計画	備考
<p>ハ 狩猟捕獲に対する支援 放射線物質の影響により狩猟捕獲頭数が減っていることから、狩猟捕獲に対する補助(1頭当たり5,000円、捕獲目標600頭)を行う。</p> <p>ニ 国の指定管理鳥獣捕獲等事業交付金を活用した捕獲事業を実施する。(捕獲目標600頭)</p> <p>3 生息地の適正管理</p> <p>イ 緩衝帯設置の推進 農作物被害防止対策に関する研修会の開催等により、農地周辺の環境整備を推進する。</p> <p>ロ シカ被害地域における再造林の推進のため、防鹿柵の設置や忌避剤の塗布等、シカ被害対策に活用できる補助事業等の周知及び実施を支援する。</p> <p>ハ 道路区域のうち、路肩部分(原則1m幅)について、6月から9月までの期間内に除草を実施する。 なお、除草は車両運転者の視距等に影響がある場合を除き、原則として年1回実施するものとする。</p> <p>ニ 事業を円滑に実施するため「鳥獣被害防止特措法」に基づき、市町村鳥獣被害防止計画の策定を支援する。 (計画作成済み市町村 シカ対象21市町) ※ R4.4末時点</p>	<p>ハ 狩猟捕獲に対する支援 放射線物質の影響により狩猟捕獲頭数が減っていることから、狩猟捕獲に対する補助(1頭当たり5,000円、捕獲目標600頭)を行う。</p> <p>ニ 国の指定管理鳥獣捕獲等事業交付金を活用した捕獲事業を実施する。(捕獲目標1,130頭)</p> <p>3 生息地の適正管理</p> <p>イ 緩衝帯設置の推進 農作物被害防止対策に関する研修会の開催等により、農地周辺の環境整備を推進する。</p> <p>ロ シカ被害地域における再造林の推進のため、防鹿柵の設置や忌避剤の塗布等、シカ被害対策に活用できる補助事業等の周知及び実施を支援する。</p> <p>ハ 道路区域のうち、路肩部分(原則1m幅)について、6月から9月までの期間内に除草を実施する。 なお、除草は車両運転者の視距等に影響がある場合を除き、原則として年1回実施するものとする。</p> <p>ニ 事業を円滑に実施するため「鳥獣被害防止特措法」に基づき、市町村鳥獣被害防止計画の策定を支援する。 (計画作成済み市町村 シカ対象21市町) ※ R5.4末時点</p>	<p>自然保護課</p> <p>自然保護課</p> <p>農山漁村なりわい課</p> <p>森林整備課</p> <p>道路課</p> <p>農山漁村なりわい課</p>

R5計画	R6計画	備考
<p>ホ 農作物被害対策の指導を担う職員を育成し地域での対策を推進する。</p> <p>ハ 車両等との事故により衝突死した個体については、各市町村に回収を依頼する。</p>	<p>ホ 農作物被害対策の指導を担う職員を育成し地域での対策を推進する。</p> <p>ハ 車両等との事故により衝突死した個体については、各市町村に回収を依頼する。</p>	<p>農山漁村なりのわい 課</p> <p>道路課</p>
<p>4 資源の活用及び残さの適正管理</p> <p>イ 放射性物質検査 平成29年12月13日から出荷が制限されているシカ肉について、放射性物質のモニタリング調査を行い、情報提供していくとともに、出荷制限が一部解除されている指定食肉処理加工施設が受け入れた肉については、全頭検査を実施した上で出荷する。</p>	<p>4 資源の活用及び残さの適正管理</p> <p>イ 放射性物質検査 平成29年12月13日から出荷が制限されているシカ肉について、放射性物質のモニタリング調査を行い、情報提供していくとともに、出荷制限が一部解除されている指定食肉処理加工施設が受け入れた肉については、全頭検査を実施した上で出荷する。</p>	<p>自然保護課</p>
<p>5 その他</p> <p>(1) 調査研究</p> <p>イ 生息状況調査 指定管理鳥獣捕獲等事業を活用し、糞塊密度調査や区画法調査による生息状況調査を実施し、階層ベイズ法による生息数推定等の生息状況調査を実施するとともに、基礎データの収集方法や推定手法の改善について検討を行う。</p> <p>ロ 捕獲状況調査 狩猟及び指定管理鳥獣捕獲等事業に係る「出猟カレンダー」で生息分布及び捕獲効率等を把握するとともに、有害鳥獣捕獲についても市町村に出猟カレンダーの提出について協力を呼びかける。</p> <p>ハ 糞塊法による生息密度と森林被害発生状況を調査する。</p> <p>ニ 好適生息環境となつている植栽放棄地の適正な管理方法について調査する。</p>	<p>5 その他</p> <p>(1) 調査研究</p> <p>イ 生息状況調査 指定管理鳥獣捕獲等事業を活用し、糞塊密度調査や区画法調査による生息状況調査を実施し、階層ベイズ法による生息数推定等の生息状況調査を実施するとともに、基礎データの収集方法や推定手法の改善について検討を行う。</p> <p>ロ 捕獲状況調査 狩猟及び指定管理鳥獣捕獲等事業に係る「出猟カレンダー」で生息分布及び捕獲効率等を把握するとともに、有害鳥獣捕獲についても市町村に出猟カレンダーの提出について協力を呼びかける。</p> <p>ハ 糞塊法による生息密度と森林被害発生状況を調査する。</p> <p>ニ 近年、シカの生息密度が増加している県内陸部において、誘引効果の高い餌を調査する。</p>	<p>自然保護課</p> <p>自然保護課</p> <p>林業技術総合センター</p> <p>林業技術総合センター</p>

R5計画	R6計画	備考
<p>ホ 近年 シカの生息密度が増加している県内陸部において、誘引効果の高い餌を調査する。</p> <p>へ 宮城県特定鳥獣保護管理計画検討・評価委員会ニホンジカ部会</p> <p>ト 県及び該当市町の事業実施計画等について専門家による検証を行うとともに、必要に応じて部会に各市町の担当者をオプザーバーとして招き、各市町の抱える問題等への助言機会の確保を図る。</p> <p>ト 地方振興事務所単位の広域連携会議等において、被害状況や防除策等の情報交換、研修会等を実施し、被害防止を図る。</p> <p>(2) 市町村が作成する「市町村森林整備計画」にて設定可能な鳥獣害防止森林区域(ニホンジカ)について、被害を特に防止すべき森林において適切に区域を設定するよう市町村を指導するとともに、森林所有者等に対し、植栽木等への食害及びその防除対策等について情報提供を行う。</p>	<p>ホ</p> <p>へ 宮城県特定鳥獣保護管理計画検討・評価委員会ニホンジカ部会</p> <p>ト 県及び該当市町の事業実施計画等について専門家による検証を行うとともに、必要に応じて部会に各市町の担当者をオプザーバーとして招き、各市町の抱える問題等への助言機会の確保を図る。</p> <p>ト 地方振興事務所単位の広域連携会議等において、被害状況や防除策等の情報交換、研修会等を実施し、被害防止を図る。</p> <p>(2) 市町村が作成する「市町村森林整備計画」で設定が可能な鳥獣害防止森林区域(ニホンジカ)について、被害を特に防止すべき森林にはおいて適切に区域を設定するよう市町村を指導する。</p> <p>森林所有者等に対し、植栽木への食害及びその防除対策等について情報提供・技術指導を行う。</p>	<p>林業技術総合センター</p> <p>自然保護課</p> <p>農山漁村なりわい課</p> <p>林業振興課</p>

令和4年度

ニホンジカ管理事業実績報告書(市町村実施分)

令和5年8月

宮城県環境生活部自然保護課

令和4年度二ホンジカ管理事業の実績と評価（市町村分）

大崎市

R4計画	R4実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ 0.00 ha R3被害実績→ 0.20 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ 0 千円 R3被害実績→ 20 千円</p> <p>(3) 作物 農作物</p> <p>(4) その他</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積 0.00 ha</p> <p>(2) 金額 0 千円</p> <p>(3) 作物</p> <p>(4) その他</p>	
<p>2 個体数管理</p> <p>個体数調整による目標捕獲数 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 40 頭</p>	<p>2 個体数管理</p> <p>(1) 個体数調整による捕獲数 0 頭 (2) 有害鳥獣捕獲による捕獲数 12 頭</p>	
<p>3 被害防除対策</p> <p>(1) 現状の把握について関係機関と連携した取り組みを強化。 (2) 里山地域における被害状況の把握と防止に努める。</p>	<p>3 被害防除対策 有害鳥獣捕獲。</p>	<p>年間被害対策費合計 0 千円</p>
<p>4 生息地の適正管理</p> <p>(1) 雑草などの繁茂を防止するため、公共施設の適正な管理に努める。</p>	<p>4 生息地の適正管理 (1)</p>	
<p>5 その他</p> <p>被害防除の研修会を開催し、自己防除の啓発を図る。</p>	<p>5 その他 (1)</p>	

令和4年度ニホンジカ管理事業の実績と評価 (市町村分)

栗原市

R4計画		R4実績		評価
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ 0.00 ha R3被害実績→ 0.00 ha (2) 金額(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ 0 千円 R3被害実績→ 0 千円 (3) 作物 水稲 (4) その他	1 被害軽減目標 (1) 面積 0.00 ha (2) 金額 0 千円 (3) 作物 - (4) その他 -			
2 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 有害鳥獣捕獲による想定捕獲	2 個体数管理 (1) 個体数調整による捕獲数 (2) 有害鳥獣捕獲による捕獲数	0 頭 19 頭		
3 被害防除対策 (1) 現状の把握について関係機関と連携した 取り組みを強化する。 (2) 防護柵(電気柵等)設置の補助を行う。	3 被害防除対策 ・個人に対し防護柵(電気柵等)設置補助 (216件)		年間被害対策費合計 19,037 千円 ◎農作物有害獣被害防護設備設置事業 補助金 7,403千円 ◎狩猟免許取得及びび銃砲所持許可取得 事業補助金 221千円 ◎鳥獣被害防止総合支援事業交付金 11,413千円	
4 生息地の適正管理 (1) 目撃情報、被害情報の把握に努める。 (2) 生息区域の把握。	4 生息地の適正管理 (1) 目撃情報を関係機関等及び地域に周知 し、注意・啓発を図り、目撃並びに被害箇 所の現地確認等を実施した。			◎被害状況報告等に応じ、随時対応を 実施した。
5 その他	5 その他 (1)			

令和4年度二ホンジカ管理事業の実績と評価 (市町村分)

石巻市

R4計画		R4実績		評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ 37.94 ha R3被害実績→ 40.15 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ 25,948 千円 R3被害実績→ 27,459 千円</p> <p>(3) 作物 水稲, 大麦, 大豆, 牧草, 未成熟ソラマメ</p> <p>(4) その他</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積 23.14 ha</p> <p>(2) 金額 17,101 千円</p> <p>(3) 作物 水稲, 大豆, 牧草, 野菜(白菜)</p> <p>(4) その他</p>			
<p>2 個体数管理</p> <p>個体数調整による目標捕獲数 0 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲 2,300 頭 猟銃(巻狩り)及びくくりわなにより市全域での二ホンジカの有害鳥獣捕獲を行う。</p>	<p>2 個体数管理</p> <p>(1) 個体数調整による捕獲数 0 頭 (2) 有害鳥獣捕獲による捕獲数 1545 頭</p>			
<p>3 被害防除対策</p> <p>(1) 有害捕獲実施者確保のため、狩猟免許取得に係る費用の助成を行う。</p> <p>(2) 地域における侵入防止柵設置推進のため、侵入防止柵の無償貸与を行う。</p>	<p>3 被害防除対策</p> <p>有害捕獲の新たな担い手確保のため、狩猟免許試験に係る費用の助成を行った。</p> <p>侵入防止柵7,500mを地域の協議会に無償貸与し、シカによる被害対策を推進した。</p>	<p>年間被害対策費合計 31523 千円 有害捕獲隊員が高齢となり、新たな担い手確保が必要であることから、継続して実施する。</p> <p>侵入防止柵の設置が農作物被害の軽減に効果的であることから、継続して実施する。</p>		
<p>4 生息地の適正管理</p> <p>(1) 緩衝帯整備の出役賃金を助成し、地域での緩衝帯整備の促進を図る。</p> <p>(2)</p>	<p>4 生息地の適正管理</p> <p>(1) 緩衝帯整備の出役賃金(延べ80人分)を助成し、緩衝帯整備の推進を図った。</p>	<p>農地周辺の生息地の適正管理に必要なため、継続して取組を推進する。</p>		
<p>5 その他</p> <p>被害状況等について関係機関と情報共有し、相互に連携・協力を図る。</p>	<p>5 その他</p> <p>(1) 県内自治体や関係機関と随時打ち合わせを行い、情報共有を図った。</p>	<p>市町村界を越えて移動することから、隣接自治体等と継続して情報共有を図る。</p>		

令和4年度ニホンジカ管理事業の実績と評価 (市町村分)

女川町

R4計画		R4実績		評価
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ R3被害実績→ (2) 金額(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ R3被害実績→ (3) 作物 (4) その他	0.31 ha 0.00 ha 434 千円 0 千円	1 被害軽減目標 (1) 面積 (2) 金額 (3) 作物 なし (4) その他 なし	0.00 ha 0 千円	
2 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 有害鳥獣捕獲による想定捕獲	頭 550 頭	2 個体数管理 (1) 個体数調整による捕獲数 (2) 有害鳥獣捕獲による捕獲数	頭 514 頭	
3 被害防除対策 (1) 現状の把握について、関係機関と連携した取組を強化する。 (2) 牡鹿半島以外の地域でも被害等が確認されており、全町的な被害状況の把握と防 止に努める。		3 被害防除対策 現状の把握について、関係機関と連携し、情報共有を図れた。 住民の要望により、のり網の配布を行い自己防衛の促進を図った。		年間被害対策費合計 24959 千円 宮城県猟友会石巻支部 206頭 事業費:9,560,100円 女川わかかの会 308頭 事業費:5,275,784 防鹿ネット交換業務:6,536,200円 防鹿柵設置業務:3,586,000円 捕獲頭数は昨年とほぼ同数であるため、継続的な駆除が必要。
4 生息地の適正管理 (1) 雑草等の繁茂を防ぐために公共施設の適正な管理に努める。 (2)		4 生息地の適正管理 (1) 雑草等の繁茂を防ぐために公共施設等の草刈りを実施し適正な管理を図った。 また、既存防鹿ネットの補修を行い、生息区域の抑制を図った。		適正な施設管理を継続して行く。 なお、広域的な防鹿柵の設置により、効果的な有害駆除(巻き狩り)が実施されていると評価されているため、今後も防鹿柵の設置を継続していく。
5 その他		5 その他 (1)		

令和4年度ニホンジカ管理事業の実績と評価 (市町村分)

登米市

R4計画		R4実績		評価
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ R3被害実績→ (2) 金額(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ R3被害実績→ (3) 作物 水稲、豆類、果樹等 (4) その他	0.17 ha 1.13 ha 千円 162 1,078 千円	被害軽減目標 (1) 面積 0.30 ha (2) 金額 190 千円 (3) 作物 水稲、豆類、野菜 (4) その他		
2 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 有害鳥獣捕獲による想定捕獲	頭 100 頭	2 個体数管理 (1) 個体数調整による捕獲数 (2) 有害鳥獣捕獲による捕獲数	0 頭 40 頭	
3 被害防除対策 被害農家に対し、圃場への侵入防止対策を講じるように指導 防護柵等設置に対する補助金制度の周知	被害防除対策 被害農家に対し、圃場への侵入防止対策を講じるように指導 防護柵等設置に対する補助金制度の周知	3 被害防除対策 被害農家に対し、圃場への侵入防止対策を講じるように指導 防護柵等設置に対する補助金制度の周知		年間被害対策費合計 768 千円 被害対策をしていない被害農家に対し、追い及び侵入防止対策(柵などの設置)を講ずるよう指導した。被害対策したにもかかわらず被害を受けた農家については有害捕獲を実施した。 また、防護柵設置等に対する補助金制度の周知を行い、その結果、侵入防止ネット設置等の対策は講じられた圃場が多く見られるようになった。 【令和4年度防護柵等設置事業実績:20件】
4 生息地の適正管理 生息区域の把握 (2)	4 生息地の適正管理 (1) 生息区域の把握	4 生息地の適正管理 (1) 生息区域の把握		目撃情報を収集した。
5 その他	5 その他 (1)	5 その他 (1)		

令和4年度ニホンジカ管理事業の実績と評価 (市町村分)

気仙沼市

R4計画		R4実績		評価
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ 1.57 ha R3被害実績→ 2.12 ha (2) 金額(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ 2,099 千円 R3被害実績→ 3,105 千円 (3) 作物 水稲・野菜等 (4) その他	1 被害軽減目標 (1) 面積 2.12 ha (2) 金額 2,836 千円 (3) 作物 水稲・野菜等 (4) その他			
2 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 有害鳥獣捕獲による想定捕獲 1,200 頭 食害が大きい地域を中心にくりわなで捕獲し、銃器又は電殺器による止め刺しを行う。 また、秋からは、わな猫と並行して巻き狩りによる捕獲を実施する。	2 個体数管理 (1) 個体数調整による捕獲数 頭 (2) 有害鳥獣捕獲による捕獲数 1,174 頭			
3 被害防除対策 (1) 農地周辺に防護ネットや電気柵を設置した際に、みやぎ環境税を活用し補助金を交付する。	3 被害防除対策 農地周辺に防護ネットや電気柵を設置した際に、みやぎ環境税を活用し補助金を交付する。			年間被害対策費合計 39,107 千円 40,240千円(市決算(見込)18,239千円+協議会決算22,001千円)×1,174頭/1,208頭=39,107千円
4 生息地の適正管理 (1) (2)	4 生息地の適正管理 (1)			
5 その他	5 その他 (1)			

令和4年度ニホンジカ管理事業の実績と評価 (市町村分)

南三陸町

R4計画		R4実績		評価
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ R3被害実績→ (2) 金額(下段前年度実績) R4被害軽減目標値→ R3被害実績→ (3) 作物 (4) その他	0.50 ha 0.05 ha 千円 486 52 千円	1 被害軽減目標 (1) 面積 (2) 金額 (3) 作物 野菜 (4) その他 森林被害	0.01 ha 48 千円	被害金額の減少については、電気柵の設置による防除効果の表れと思われる。
2 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 有害鳥獣捕獲による想定捕獲	頭 107 頭	2 個体数管理 (1) 個体数調整による捕獲数 (2) 有害鳥獣捕獲による捕獲数	頭 59 頭	支援事業による捕獲数は、想定を下回っているが、指定管理事業と合わせた捕獲数は想定捕獲数を上回っている。
3 被害防除対策 (1) 関係機関との情報共有 (2)		3 被害防除対策 (1) 関係機関との情報共有 (2) 電気柵の設置に対する補助(継続)		年間被害対策費合計 819 千円 これまでに引き続き、町単事業で電気柵設置に対する助成を実施した。(R4年度補助金交付実績:5件)
4 生息地の適正管理 (1) 目撃情報、被害情報の把握に努める。 (2) 生息地の適正管理について住民への周知を行う。 その他		4 生息地の適正管理 (1) 目撃情報、被害情報の把握に努める (2) 生息地の適正管理について住民への周知を行う その他 (1)		広報により、環境整備の重要性を呼び掛けた。 ①野菜残さを放置しない ②果樹は適切に収穫する ③草刈や木を切るなど、動物の住処を減らす

令和5年度

ニホンジカ管理事業実施計画書(市町村実施分)

令和5年8月

宮城県環境生活部自然保護課

令和5年度ニホンジカ管理事業実施計画（市町村分）

大崎市

R4実績		R5計画		備考
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度実績) 0.00 ha (2) 金額(下段前年度実績) 0 千円 (3) 作物 (4) その他	1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ (自動入力)R4被害軽減目標値 (2) 金額(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ 0 千円 (3) 作物 (自動入力)R4被害軽減目標値 0 千円 (4) その他			
2 個体数管理 (1) 個体数調整による捕獲数 (2) 有害鳥獣捕獲による捕獲数	2 個体数管理 (1) 個体数調整による目標捕獲数 0 頭 (2) 有害鳥獣捕獲による想定捕獲 70 頭			
3 被害防除対策 (1) 有害鳥獣捕獲。	3 被害防除対策 (1) 現状の把握について関係機関と連携した 取り組みを強化。 里山地域においての被害状況の把握と 防止に努める。			年間被害対策費合計 650 千円
4 生息地の適正管理 (1)	4 生息地の適正管理 (1) 雑草などの繁茂を防止するため、公共施設 の適正な管理に努める。			
5 その他 (1)	5 その他 (1) 被害防除の研修会を開催し、自己防除の 啓発を図る			

令和5年度二ホンジカ管理事業実施計画（市町村分）

栗原市

R4実績		R5計画		備考
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度実績) 0.00 ha (2) 金額(下段前年度実績) 0 千円 (3) 作物 (4) その他	1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ (自動入力)R4被害軽減目標値 (2) 金額(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ (自動入力)R4被害軽減目標値 (3) 作物 水稲 (4) その他	0.00 ha 0 千円	0.00 ha 0.00 ha 0 千円 0 千円	
2 個体数管理 (1) 個体数調整による捕獲数 0 頭 (2) 有害鳥獣捕獲による捕獲数 19 頭	2 個体数管理 (1) 個体数調整による目標捕獲数 0 頭 (2) 有害鳥獣捕獲による想定捕獲 30 頭			
3 被害防除対策 (1) 個人に対し防護柵(電気柵等)設置補助 (216件)	3 被害防除対策 (1) 現状の把握について関係機関と連携した 取り組みを強化する。 防護柵(電気柵等)設置の補助を行う。			年間被害対策費合計 50,530 千円 ・防護柵(電気柵等)設置補助事業 8,000 千円 ・鳥獣被害防止総合支援事業交付金 41,930千円 ・狩猟免許取得及銃砲所持許可取得事業 600千円
4 生息地の適正管理 (1) 目撃情報を関係機関等及び地域に周知し、注意・啓発を図り、目撃並びに被害箇所の現地確認等を実施した。	4 生息地の適正管理 (1) 目撃情報、被害情報の把握に努める。 生息地域の把握。			
5 その他 (1)	5 その他 (1)			

令和5年度二ホンジカ管理事業実施計画（市町村分）

石巻市

R4実績		R5計画		備考
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度実績) 23.14 ha (2) 金額(下段前年度実績) 17,101 千円 (3) 作物 水稲, 大豆, 牧草, 野菜(白菜) (4) その他	1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ (自動入力)R4被害軽減目標値 21.98 ha 37.94 ha (2) 金額(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ 16,246 千円 (自動入力)R4被害軽減目標値 25,948 千円 (3) 作物 水稲, 大豆, 牧草, 野菜(白菜) (4) その他	前年度実績比5%減少を目指す。 前年度実績比5%減少を目指す。		
2 個体数管理 (1) 個体数調整による捕獲数 0 頭 (2) 有害鳥獣捕獲による捕獲数 1545 頭	2 個体数管理 (1) 個体数調整による目標捕獲数 0 頭 (2) 有害鳥獣捕獲による想定捕獲 2350 頭			
3 被害防除対策 (1) 有害捕獲の新たな担い手確保のため、 狩猟免許試験に係る費用の助成を行っ た。 侵入防止柵7,500mを地域の協議会に無 償貸与し、シカによる被害対策を推進し た。	3 被害防除対策 (1) 有害捕獲の新たな担い手確保のため、 狩猟免許取得に係る費用の助成を行う。 (2) 地域における侵入防止柵設置推進のた め、侵入防止柵の無償貸与を行う。			年間被害対策費合計 34800 千円 【年間被害対策費内訳(予算額)】 業務委託費 19,800千円 対策協議会運営費補助金 15,000千円
4 生息地の適正管理 (1) 緩衝帯整備の出役賃金(延べ80人分) を助成し、緩衝帯整備の推進を図った。	4 生息地の適正管理 (1) 地域へ情報提供を行うことで緩衝帯の 整備や放任果樹の除去などを推進し、人 と鳥獣のすみ分けを図る。			
5 その他 (1) 県内自治体や関係機関と随時打ち合わ せを行い、情報共有を図った。	5 その他 (1) 県内自治体や関係機関と打ち合わせを 行い、情報共有を図る。			

令和5年度ニホンジカ管理事業実施計画（市町村分）

女川町

R4実績		R5計画	備考
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度実績)</p> <p>0.00 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度実績)</p> <p>0 千円</p> <p>(3) 作物</p> <p>なし</p> <p>(4) その他</p> <p>なし</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度計画)</p> <p>R5被害軽減目標値→ 0.31 ha</p> <p>(自動入力)R4被害軽減目標値 0.31 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度計画)</p> <p>R5被害軽減目標値→ 434 千円</p> <p>(自動入力)R4被害軽減目標値 434 千円</p> <p>(3) 作物</p> <p>(4) その他</p>		
<p>2 個体数管理</p> <p>(1) 個体数調整による捕獲数</p> <p>0 頭</p> <p>(2) 有害鳥獣捕獲による捕獲数</p> <p>514 頭</p>	<p>2 個体数管理</p> <p>(1) 個体数調整による日標捕獲数</p> <p>頭</p> <p>(2) 有害鳥獣捕獲による想定捕獲</p> <p>500 頭</p>		
<p>3 被害防除対策</p> <p>(1) 現状の把握について、関係機関と連携し、情報共有を図れた。</p> <p>住民の要望により、のり網の配布を行い自己防衛の促進を図った。</p>	<p>3 被害防除対策</p> <p>(1) 現状の把握について、関係機関と連携した取組を強化する。</p> <p>(2) 牡鹿半島以外の地域でも被害等が確認され、全町的な被害状況の把握と防止に努める。</p>	年間被害対策費合計 22359 千円	<p>有害駆除委託料: 9,551,000円</p> <p>有害駆除補助金: 4,168,000円</p> <p>防鹿ネット交換業務: 3,800,000円</p> <p>防鹿柵設置業務: 4,840,000円</p>
<p>4 生息地の適正管理</p> <p>(1) 雑草等の繁茂を防ぐために公共施設等の草刈りを実施し適正な管理を図った。</p> <p>また、既存防鹿ネットの補修を行い、生息区域の抑制を図った。</p>	<p>4 生息地の適正管理</p> <p>(1) 広域防鹿柵の設置を促進させ、ニホンジカの生息区域を抑制させるとともに、効果的な有害駆除(巻き狩り)の実施を行う。</p>		
<p>5 その他</p> <p>(1)</p>	<p>5 その他</p> <p>(1)</p>		

令和5年度ニホンジカ管理事業実施計画（市町村分）

登米市

R4実績		R5計画		備考
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度実績) 0.30 ha (2) 金額(下段前年度実績) 190 千円 (3) 作物 水稲、豆類、野菜 (4) その他	1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ (自動入力)R4被害軽減目標値 0.05 ha 0.17 ha (2) 金額(下段前年度計画) R5被害軽減目標値→ 29 千円 (自動入力)R4被害軽減目標値 162 千円 (3) 作物 水稲、豆類、野菜 (4) その他			
2 個体数管理 (1) 個体数調整による捕獲数 0 頭 (2) 有害鳥獣捕獲による捕獲数 40 頭	2 個体数管理 (1) 個体数調整による日標捕獲数 0 頭 (2) 有害鳥獣捕獲による想定捕獲 100 頭			
3 被害防除対策 (1) 被害農家に対し、圃場への侵入防止対策 を講じるように指導 防護柵等設置に対する補助金制度の周 知	3 被害防除対策 (1) 被害農家に対し、圃場への侵入防止対策 を講じるように指導 防護柵等設置に対する補助金制度の周 知			年間被害対策費合計 1000 千円
4 生息地の適正管理 (1) 生息区域の把握	4 生息地の適正管理 (1) 生息区域の把握			
5 その他 (1)	5 その他 (1)			

令和5年度二ホンジカ管理事業実施計画（市町村分）

気仙沼市

R4実績		R5計画	備考
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度実績)</p> <p>2.12 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度実績)</p> <p>2,836 千円</p> <p>(3) 作物</p> <p>水稲・野菜等</p> <p>(4) その他</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度計画)</p> <p>R5被害軽減目標値→ 1.91 ha</p> <p>(自動入力)R4被害軽減目標値 1.57 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度計画)</p> <p>R5被害軽減目標値→ 2,795 千円</p> <p>(自動入力)R4被害軽減目標値 2,099 千円</p> <p>(3) 作物</p> <p>水稲・野菜等</p> <p>(4) その他</p>		
<p>2 個体数管理</p> <p>(1) 個体数調整による捕獲数 0 頭</p> <p>(2) 有害鳥獣捕獲による捕獲数 1174 頭</p>	<p>2 個体数管理</p> <p>(1) 個体数調整による目標捕獲数 頭</p> <p>(2) 有害鳥獣捕獲による想定捕獲 1,400 頭</p>		
<p>3 被害防除対策</p> <p>(1) 農地周辺に防護ネットや電気柵を設置した際に、みやぎ環境税を活用し補助金を交付する。</p>	<p>3 被害防除対策</p> <p>(1) 農地周辺に防護ネットや電気柵を設置した際に、みやぎ環境税を活用し補助金を交付する。</p>		年間被害対策費合計 40,299 千円 42,026千円(市予算20,832千円+協議会予算21,194千円)×1,400頭/1,460頭=40,299千円
<p>4 生息地の適正管理</p> <p>(1)</p>	<p>4 生息地の適正管理</p> <p>(1)</p>		
<p>5 その他</p> <p>(1)</p>	<p>5 その他</p> <p>(1)</p>		

令和5年度二ホンジカ管理事業実施計画（市町村分）

南三陸町

R4実績		R5計画		備考
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度実績)</p> <p>0.01 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度実績)</p> <p>48 千円</p> <p>(3) 作物</p> <p>野菜</p> <p>(4) その他</p> <p>森林被害</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度計画)</p> <p>R5被害軽減目標値→</p> <p>0.04 ha</p> <p>(自動入力)R4被害軽減目標値</p> <p>0.50 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度計画)</p> <p>R5被害軽減目標値→</p> <p>42 千円</p> <p>(自動入力)R4被害軽減目標値</p> <p>486 千円</p> <p>(3) 作物</p> <p>水稻、野菜、果樹、花卉</p> <p>(4) その他</p> <p>森林被害、交通事故</p>	<p>鳥獣被害防止計画に定めた被害の軽減目標値</p>		
<p>2 個体数管理</p> <p>(1) 個体数調整による捕獲数</p> <p>0 頭</p> <p>(2) 有害鳥獣捕獲による捕獲数</p> <p>59 頭</p>	<p>2 個体数管理</p> <p>(1) 個体数調整による目標捕獲数</p> <p>頭</p> <p>(2) 有害鳥獣捕獲による想定捕獲</p> <p>100 頭</p>	<p>鳥獣被害防止計画に定めた被害の軽減目標値</p>		
<p>3 被害防除対策</p> <p>(1) 関係機関との情報共有</p> <p>(2) 電気柵の設置に対する補助(継続)</p>	<p>3 被害防除対策</p> <p>(1) 関係機関との情報共有</p> <p>(2) 電気柵の設置に対する補助</p>	<p>年間被害対策費合計</p> <p>千円</p>		
<p>4 生息地の適正管理</p> <p>(1) 目撃情報、被害情報の把握に努める</p> <p>(2) 生息地の適正管理について住民への周知を行う</p>	<p>4 生息地の適正管理</p> <p>(1) 適切に除草を行うなど、適正管理の周知に努める。</p>			
<p>5 その他</p> <p>(1)</p>	<p>5 その他</p> <p>(1)</p>			

